

## 令和6年度の債権管理の状況

令和6年度末の本市の未収金の状況を見ると、全市の未収金額は119億円余となり、前年度から4億円余減少し、全市的な債権管理の取組みを開始した平成22年度以降では最少額となる見込みである。

局別にみると、前年度から未収金額が最も大きく減少しているのは財政局であり、6億円余の減少が見込まれている。これは、市税の現年課税分の徴収強化に加え、既存未収金の整理が進んだことが主な要因と考えられる。

これに次いで、子ども青少年局では未収金額が1,800万円余減少する見込みである。これは、民間保育所徴収金、児童扶養手当返還金、母子父子寡婦福祉資金貸付金において、未収金額が大きく減少したこと等が主な要因であると考えられる。

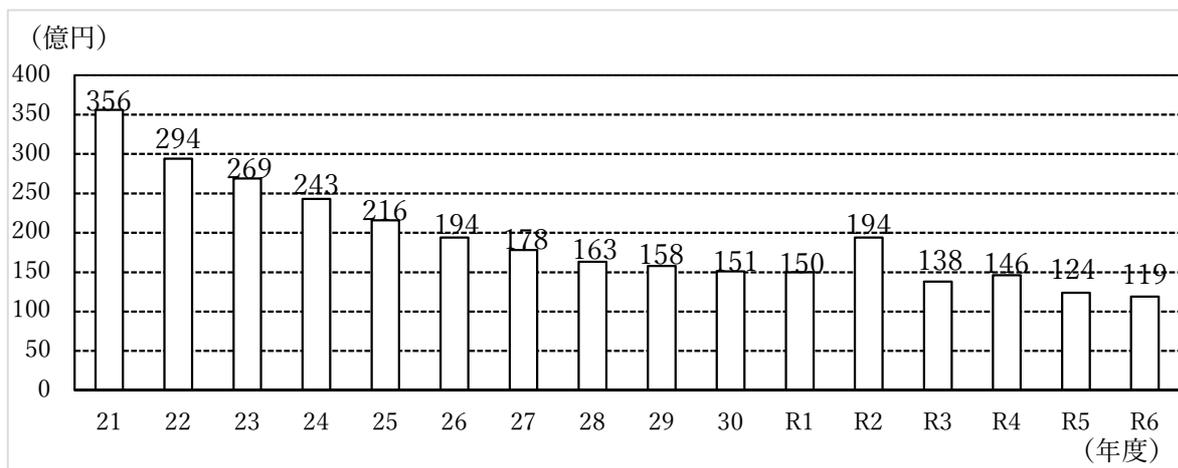
その他、緑政土木局、スポーツ市民局において、前年度から未収金額が減少している。

一方で、個々の債権を見ると、令和6年度末の未収金額が令和5年度末から減少していない又は増加している債権の割合が、全債権の6割以上を占める状況となっている。

近年、物価高騰や制度改正等により調定額が大幅に増加する債権が増えている。こうした状況の中でも、債務者の実情に十分に配慮しつつ、回収すべき債権の確実な回収を徹底していく必要がある。

今後も、適正な債権管理を継続するとともに、各債権において、年間目標・年間計画における取組みを着実に実施し、未収金目標を達成できるよう、進捗管理の徹底が求められる。

### <参考>全市の未収金額の推移



## 令和6年度未収金状況（局別）

（単位：千円）

局名	令和6年度末 未収金額（見込）①	令和5年度末 未収金額②	増減額 ①－②
総務局	2,675	13	2,662
財政局	2,253,565	2,934,892	△ 681,327
スポーツ市民局	12,194	12,208	△ 14
経済局	33,486	7,684	25,802
観光文化交流局	140	140	0
環境局	1,360	1,277	83
健康福祉局	8,017,819	7,860,319	157,500
子ども青少年局	826,782	845,577	△ 18,795
住宅都市局	319,040	317,707	1,333
緑政土木局	16,248	16,822	△ 574
市会事務局	600	600	0
教育委員会	64,213	63,561	652
上下水道局	317,312	277,035	40,277
交通局	118,473	117,386	1,087
合計	11,983,908	12,455,220	△ 471,312

注1) 各局の数値及び合計は、各年度に新たに未収金が発生した債権を含む。

注2) 金額は四捨五入により表示しているため、各局の値を合計したものは、「合計」欄の値と一致しないことがある。